OBだより No.17

25周年記念「外大能」近づく！

来る12月7日、例年の如く、河村能舞台にて、左記の番組にて、創部25周年記念「外大能」が開かれます。OBの皆様！大変おせわしいとは存じますが是非、是非、この記念すべき会に御参加下さいます様、お願い致します。

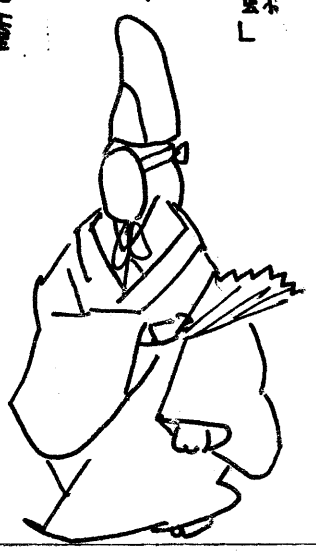
番組

能楽
「小袖曽我」「胡蝶」「船弁慶」

舞囃子
「松風」「班女」

素謡
「土蜘蛛」

仕舞
十番



OB連吟
「菊慈童」

OB仕舞
「放下僧」奥田圭一
「山姥」藤原敬起

以上

OB連吟もよろしくOO。

OB総会に出席して

♡藤本佐弓♡

八月十八日、「新ハマムラ」にて、OB総会が開かれました。

私席者は、橋本先生御夫妻初め、今年卒業の新会員二名を含む八名でした。お昼から、四時頃まで、和やかな、ひと時を過ごさせて頂きました。

能楽部も、創設二十五周年を迎えます。その成長ぶりを聞くにつけ、私達OB、一人一人の心のつながりを大切にしなければと思いますし、それが現役部員にとっても何よりの励ましになることと思います。

私自身思うばかりで、自演会等にも、なかなか一人でも多くの会員の皆様に出席していただきたいと願っております。

♡奥田圭一♡

去る8月18日、京都におりてOB総会が行われた。先生を含め8名と相当らず盛大にとは言えない。なぜと問うても理由は様々であり、一概に不平を述べることもできないのだが。

出席すれば何があるか。酒を呑み言葉を交わす。可論、現役に共にしての建設的な話もするが、近況報告をし、あとは、懐古の世界だ。

早く苦しかったことは時間に浄化され、甘くない想いは再び湧きおこり、（これはナーオ味いけど）楽しくおかしい想いは倍になって還ってくる。10年20年すればなおさらだ。

今、BOXへ行き、現役達の幸そうな顔を見ていると昔の自分たちを想い返し、口の端が歪んでしまう。"ごまをみろ!!頑張れよ、毎年同じ苦労だよ"と。

大学の4年間という或る意味で、人生でいちばん有意義な時間を同じ時間を、同じ目標をもって頑張ってそているのだ。羨ましいものは、各様のもしれなりが、道はいっしょなのだ。

とうとう自分で放えた最後の人達が、卒業を目の前にしている。現役を含め、OBも自分より若い人達が増えてくる。毎年でも出席していないと遅れなくなる。

次年に話も合わなくなり年齢を感じてくるが、そこは、まだまだやせ我慢、いつまで続くかわからないが、先生よりはまだまだ、確道を生がりちばん感じているのだろうから。

私のアメリカ生活☆☽☀

（その3）

中村 葉

主人の学会出張に便乗してやって来たニューオリンズ。アメリカ南部ルイジアナ州都で、スペインとフランス文化の影響を色濃く残しているニューオリンズは、私達にとって、見慣れた東部の首都ワシントンD.C.とは、あまりにも違っており、異国の都市のように感じられました。気候は南にメキシコ湾、東にミシシッピー川河口をひかえ、湿暖為湿で、まだ四月中旬でしたが、半袖で過せました。

主人が学会出席中は、子供と一緒に昼間は、比較的治安の良いフレンチクオーター（旧市街のようにお土産物屋が立ち並んでいるお店をウィンドウショッピングしたり、馬車に乗ってフレンチクオーター内を観光したり、又、路面電車に乗って動物園まで足をのばしたりして楽しみました。今どもこの路面電車の両脇に並ぶ外国樹と高級住宅街のようすは、まるでヨーロッパにたたずまいを想い出します。

学会を終えた主人と河畔で待ち合せ、トム・ソーヤー物語に出てくる蒸気船そのままの、遊覧船で、ミシシッピーの川下りを楽しみました。それは、ゆったりとした流れの中を、オールを着てデッキに立っている役の方を見ると、そこにトムがいるような、錯覚をする程でした。

しかし、想像していたほど、ミシシッピー川の水そのものは、きれいではなく、泥水のように濁っていました。

さて、川下りの後は夕食です。ニューオリンズには、豊富な海産物を使ったフランス風や、スペイン風の新為くの人ニューがあり、その中度を一層り、又、レストランもスペイン風料理の味をひき立ててくれます。又、ロッシスターズ色という為のレストランで、ジャズを聞きながらの食事も楽しいものでした。ちいスペイン風料理の中度には、一流れた噴水があり、その傍では、楽団が生演奏をしており、その楽団の前に席をとって食事をするのです。中度の入口近くのレンが数の廊下には、数多くの郷土料理が並べられ、ビュッフェ形式で好きな料理を、好きな量だけ取ってきては、音楽を背中にワインを片手にゆっくりと味わうのです。下町のレストランではもっぱら庶民的な郷土料理が安く味めえますが、特にエカンボーと呼ばれる料理は、海産物をたっぷり使ったシチューをごはんのようにかけてりたべる料理で、適当な塩味とスパイスの香辛料がうまく調和して、ニューオリンズの郷土料理とも言為れる様でした。

このガンボは、私達日本人の舌にも良く合い大変食欲をそそりました。

又、ところこしの粉をまるめて、ドーナッのように油で揚げたものは、口ハッシュパピーといって、サラし甘みがあり、美味でした。

ところで、ニューオリンズは黒人の町、ジャズを心一ボこの町です。休日ともなれば、目抜き通りを一台前奥に入ったどこからともなく、ううりネアやトロンボーンを片手に黒人達が集ってきては、にぎやかに演奏をしています。



……（次回をお楽しみに）……

外大能

クラブ創設
25周年
記念

今年は、25周年記念会
にふさわしく、
能楽が三番という、
超ゴウカな番組です。
OBの皆様、是非、
是非、河村能舞台の
見所で、現役の人達の
舞台を見ましょう!!

河村能舞台にて、
12月7日(土) 午前10時30分より、
ぜひ
見に来て下さい!!